

[省令第8条の4の5 (1,000トン以上排出事業者用)]

様式第2号の8 (第8条の4の5関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和5年4月25日

(宛先) 長野市長 荻原 健司 様

提出者

住所 長野市新田町1464番地

氏名 東邦建工株式会社

代表取締役 増子 桂介

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 026-264-5555

産業廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称 東邦建工株式会社

事業場の所在地 長野市新田町1464番地

計画期間 令和5年4月1日～令和6年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

① 事業の種類 建設業

② 事業の規模 令和4年度 年商40億円

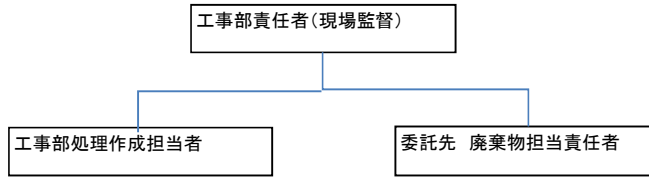
③ 従業員数 85名

④ 産業廃棄物の一連の処理工程

各排出現場 → 委託運搬処理 → 委託中間・再生・焼却処理

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度(令和4年度)実績】						
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック(廃タイヤ、発泡)	木くず	紙くず	金属くず	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	繊維くず
	排出量	250.84t	378.72t	502.84t	22.60t	328.98t	3.18t
	産業廃棄物の種類	建設混合廃棄物(安定型、管)	廃油	がれき類(コンクリがら、廃アス)	水銀使用製品廃棄物	再生ボード	
	排出量	113.41t	0.02t	298.30t	0.01t	65.60t	
(これまでに実施した取組) 特に無し							
②計画	【目標】						
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック(廃タイヤ、発泡)	木くず	紙くず	金属くず	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	繊維くず
	排出量	200.00t	302.00t	400.00t	18.00t	265.00t	2.50t
	産業廃棄物の種類	建設混合廃棄物(安定型、管)	廃油	がれき類(コンクリがら、廃アス)	水銀使用製品廃棄物	再生ボード	
	排出量	90.00t		240.00t		40.00t	
(今後実施する予定の取組) 全体として20%の削減目標設定							

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 特に無し
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 再生利用できる物は分別する取組を図る

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項							
①現状	【前年度（令和 年度）実績】						
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック (廃タイヤ、発泡)	木くず	紙くず	金属くず	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	繊維くず
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量						
	産業廃棄物の種類	建設混合廃棄物(安定型、管理)	廃油	がれき類(コンクリがら、廃アス)	水銀使用製品廃棄物	再生ボード	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量						
	(これまでに実施した取組) 特に無し						
②計画	【目標】						
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック (廃タイヤ、発泡)	木くず	紙くず	金属くず	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	繊維くず
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量						
	産業廃棄物の種類	建設混合廃棄物(安定型、管理)	廃油	がれき類(コンクリがら、廃アス)	水銀使用製品廃棄物	再生ボード	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量						
	(今後実施する予定の取組) 再生利用できる物は分別する取組を図る						
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項							
①現状	【前年度（令和 年度）実績】						
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック (廃タイヤ、発泡)	木くず	紙くず	金属くず	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	繊維くず
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量						
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量						
	産業廃棄物の種類	建設混合廃棄物(安定型、管理)	廃油	がれき類(コンクリがら、廃アス)	水銀使用製品廃棄物	再生ボード	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量						
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量							
(これまでに実施した取組) 特に無し							
②計画	【目標】						
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック (廃タイヤ、発泡)	木くず	紙くず	金属くず	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	繊維くず
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量						
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量						
	産業廃棄物の種類	建設混合廃棄物(安定型、管理)	廃油	がれき類(コンクリがら、廃アス)	水銀使用製品廃棄物	再生ボード	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量						
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量							
(今後実施する予定の取組) 特に無し							

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項							
①現状	【前年度（令和 年度）実績】						
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック (廃タイヤ、発泡スチロール等)	木くず	紙くず	金属くず	ガラス・コンクリート・陶磁器くず(石膏ボード等)	繊維くず
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量						
	産業廃棄物の種類	建設混合廃棄物 (安定型、管理型)	廃油	がれき類(コンクリーガラ、廃アスファルト、レンガ)	水銀使用製品廃棄物	再生ボード	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量						
	(これまでに実施した取組) 特に無し						
②計画	【目標】						
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック (廃タイヤ、発泡スチロール等)	木くず	紙くず	金属くず	ガラス・コンクリート・陶磁器くず(石膏ボード等)	繊維くず
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量						
	産業廃棄物の種類	建設混合廃棄物 (安定型、管理型)	廃油	がれき類(コンクリーガラ、廃アスファルト、レンガ)	水銀使用製品廃棄物	再生ボード	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量						
	(今後実施する予定の取組) 特に無し						
産業廃棄物の処理の委託に関する事項							
①現状	【前年度（令和 4年度）実績】						
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック (廃タイヤ、発泡スチロール等)	木くず	紙くず	金属くず	ガラス・コンクリート・陶磁器くず(石膏ボード等)	繊維くず
	全処理委託量	250.84t	378.72t	502.84t	22.60t	328.98t	3.18t
	優良認定処理業者への処理委託量						
	再生利用業者への処理委託量						
	認定熱回収業者への処理委託量						
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量						
	産業廃棄物の種類	建設混合廃棄物 (安定型、管理型)	廃油	がれき類(コンクリーガラ、廃アスファルト、レンガ)	水銀使用製品廃棄物	再生ボード	
	全処理委託量	113.41t	0.02t	298.30t	0.01t	65.60t	
	優良認定処理業者への処理委託量						
	再生利用業者への処理委託量						
	認定熱回収業者への処理委託量						
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量						
	(これまでに実施した取組) 特に無し						

【目標】						
産業廃棄物の種類	廃プラスチック (廃タイヤ、発泡スチロール含)	木くず	紙くず	金属くず	ガラス・コンクリート・陶磁器くず(石膏ボード含)	繊維くず
全処理委託量	200.00t	302.00t	400.00t	18.00t	265.00t	2.50t
優良認定処理業者への処理委託量						
再生利用業者への処理委託量						
認定熱回収業者への処理委託量						
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者へ処理委託量						
産業廃棄物の種類	建設混合廃棄物(安定型、管理型)	廃油	がれき類(コンクリがら、廃アスファルト、レンガ)	水銀使用製品廃棄物	再生ボード	
全処理委託量	90.00t		240.00t		40.00t	
優良認定処理業者への処理委託量						
再生利用業者への処理委託量						
認定熱回収業者への処理委託量						
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者へ処理委託量						
(今後実施する予定の取組) 処理委託先への指示徹底						
②計画						
※事務処理欄						

産業廃棄物処理計画書（産業廃棄物の実績及び計画の量）

処 理 事 項		産 業 廃 棄 物 の 種 類 (実績値・計画値)											合 計		
		廃プラスチック(廃タイヤ、発泡スチ)	木くず	紙くず	金属くず	ガラス・コンクリート・陶磁器く	繊維くず	建設混合廃棄物(安定型、管理型)	廃油	がれき類(コンクリがら、廃プラスチック)	水銀使用製品廃棄物	再生ボード			
排出抑制に関する事項	前年度排出量(実績)	250.84t	378.72t	502.84t	22.60t	328.98t	3.18t	113.41t	0.02t	298.30t	0.01t	65.60t		1,964.49t	
	本年度排出量(計画)	200.00t	302.00t	400.00t	18.00t	265.00t	2.50t	90.00t		240.00t		40.00t		1,557.50t	
自ら行う(行った)再生利用に関する事項		前年度実績													
		本年度計画(目標)													
自ら行う(行った)中間処理に関する事項	自ら行う(行った)熱回収の量	前年度実績													
		本年度計画(目標)													
	自ら中間処理により減量する(した)量	前年度実績													
		本年度計画(目標)													
自ら行う(行った)埋立処分又は海洋投入処分に関する事項		前年度実績													
		本年度計画(目標)													
処理の委託に関する事項	全処理委託量		前年度実績	250.84t	378.72t	502.84t	22.60t	328.98t	3.18t	113.41t	0.02t	298.30t	0.01t	65.60t	1,964.49t
			本年度計画(目標)	200.00t	302.00t	400.00t	18.00t	265.00t	2.50t	90.00t		240.00t		40.00t	1,557.50t
	優良認定処理業者への処理委託量		前年度実績												
			本年度計画(目標)												
	再生利用業者への処理委託量		前年度実績												
			本年度計画(目標)												
	認定熱回収業者への処理委託量		前年度実績												
			本年度計画(目標)												
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量		前年度実績												
			本年度計画(目標)												

【記載方法】

- ・ 各産業廃棄物の種類ごとに該当の箇所の上段に前年度の実績（現状）を、下段に本年度の目標（計画）の産業廃棄物の量を記載してください。
- ・ 「自ら行う再生利用に関する事項」の欄は、自ら直接再生利用した量と中間処理した後再生利用した量を記載してください。
- ・ 「自ら行う埋立処分又は海洋投入処分に関する事項」は、自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量と自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量を記載してください。
- ・ 「処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量及びそれぞれの内訳を記載してください。